

- ▶ 今後、政府として取り組むべき環境整備の在り方と民間投資の目指すべき方向性を共有するため、安倍内閣総理大臣主催により、日本経済再生本部の下、「未来投資に向けた官民対話」が開催。(第1回会合:平成27年10月16日、第2回会合:同11月5日)
- ▶ 第二回の会合では、IoT、ビッグデータ等の観点から、自動走行・ドローン等に関する具体的な方針を決定。

電波利用に係る民間からの要望(第2回会合)

- ▶ ドローンの広域での安定制御のためのドローン用の周波数割当てと出力制限の緩和 等



高市総務大臣発言(抜粋)

ドローンをより遠くまで飛ばして、高画質の映像など、大容量データのやり取りを可能とするということは、測量や物流といった新たな利用の可能性を広げるという観点から大変重要だと思っている。・・・私は電波を所管する立場から、まず、ドローンの操作やデータの伝送に用いる周波数帯の拡大及び電波の出力の引き上げを行う。

安倍内閣総理大臣による締めくくり(抜粋)

ドローンや建設機械を、より遠隔地から操作したり、データをやり取りできるようにします。このため、来年夏までに、使用できる周波数帯の拡大や出力アップなど、新たな電波利用の制度を整備します。